



日本共産党 和歌山市議員
南畑 さち代

いっせい地方選挙に全力で！

日本共産党

こんにちはは 市議員
南畑さち代 です



No. 60
2015・3・29
連絡先
453-7758

いよいよ期目に挑戦するいっせい地方選挙が始まります。3月14日に開かれた演説会を始め、日々熱気を帯びてきました。今度の選挙は自民党・公明党の日本を「戦争する国」へと押し進める暴走に何としてもストップをかけると同時に、和歌山市が市民の命や暮らし最優先の市政とするために声を上げる選挙ではないでしょうか。「産廃建設ストップ」「介護保険制度の改善やめよ」「高すぎる国保料の引き下げ」や「子どもの医療費、通院も中学校卒業まで無料に」「福祉のまちづくり」など公約実現に全力で取り組む決意です。

2月議会報告

1、産廃問題について

隻の声、受け止めよ

和歌山市は昨年の12月17日、業者に対し「生活環境影響調査実施計画書に基づく調査等について」の文書を提出しました。要旨は「

専門技術委員からの意見に対する貴社の検討結果は専門技術委員の意見と一部相違があり問題がないと認める段階には至っていないが、調査を実施することについては妨げるものではありません。」などというものです。

12月議会の厚生委員会でも業者の対応に市は「納得はしていない」と説明したにもかかわらず「文書」を提出したことは、業者の「調査」を後押ししているように見えることから党・市議団が撤回を求める要望書を提出したと、この「文書」が住民の不安や市の専門技術委員や関係各課の意見を無視していると質問しました。

質問 住民の方から、「住民不安や関係各課等の意見を無視している」との声が寄せられているがどう受け止めているのか。

答弁 関係住民の意見は十分尊重しなければならぬと認識している。市としては慎重に対処してまいります。



の崩壊・水質汚染・地下水への影響などの強い不安の訴えは私自身も同感」と答弁していることをあげ、市としても住民不



産廃問題で市長と懇談

に大きな責任をもつ問題だと言ったことを肝に命じ対応することを強く要望しました。

2、投票における障害のある方等への支援について

盲ろう者の場合、三重苦（見えない、聞かえない、言えない）のため、投票する際、意志を伝えるには通訳者を通じて指文字などで伝える以外に方法がありません。先の選挙で、通訳者に代理投票を「出来ません」と言われ、帰ったということがありました。投票する権利を保障することは（裏面に続く）

安に配慮してきた内容をしっかり心に刻み、市長はじめ市民環境局長、関係部局の皆さんには、住民の命と暮らしを守る責任があり、これからの未来の子どもを含めた将来

紀ノ川駅改善の取り組み



水洗化されたトイレ

南海電鉄と交渉し、議会でも取り上げ、紀ノ川駅のトイレが今年2月末に改修され水洗化しました。2月に駅頭で実施したアンケートでは46人の方から回答があり、32人の方からエレベーター設置の要望が寄せられました。また、駅前に送迎用のスペースが欲しいとの要望が最も多く寄せられています。駅前の点字ブロックの補修は、県の道路整備課は6月に完成予定として

(補修予定の点字ブロック)



（表面から続く）当然であり看過出来ない」と質問しました。
質問 市長として、盲ろうの障害に対して、どのような認識をもっているか。
市長 重度のコミュニケーション障害があることにより日常生活や社会参加が極めて困難な状況に置かれています。よりの質の高い生活をしていただけるように、今後とも盲ろう者の方に対し、支援を継続していかねばならないと認識しています。

投票支援策として通訳・介助員を期日前投票所及び投票所に配置すべきだ。選挙情報の周知は出向いて説明をすべきだ。通訳・介助員派遣事業は年間240時間となっている。拡充すべきだ。
選挙管理委員長 通訳・介助員の配置など対応策を検討する。周知については関係団体への説明も含め検討する。
福祉局長 通訳・介助員派遣事業の拡充について検討する。

盲ろう者の方にとって通訳・介助は生きることにつながる支援です。ご自身が盲ろう者で東大教授の福島智（ふくしま・さとる）氏は『生きるって人とつながることだ！』の著書の中で、「指文字は他者とのコミュニケーションだけでなく、『通訳』という手段を通じて私に広い世界を提供してくれた」と書かれています。枚方では通訳・介助員派遣事業は年間1080時間です。拡充は一日も早くと要望します。



投票は当然の権利であり、通訳・介助員なくては意思表示が出来ない盲ろうの方にとって欠かせない存在で、検討の余地はなく、投票所などへの配置は早期に実現すべきです。

無料生活法律相談

日時：4月 1日(水)
4月15日(水)
午後6時～7時
会場：河西診療所組合員ホール
申込：南畑幸代まで

無料生活相談

日時：毎週木曜日
午前10時～12時
(電話での相談は常時行っています)
会場：南畑幸代生活相談所
TEL 453-3418、453-7758(自宅)
和歌山市善明寺411-4

相談実施中は看板を出しています
お問い合わせは南畑幸代まで
435-1113 (日本共産党市議団直通)



大門みきしさんが激励